



大洗あんこう祭 (2015)

2015 年 11 月 15 日、茨城県大洗町

「ガールズ&パンツァー」

2012年にアニメ「ガールズ&パンツァー」、通称ガルパンの放送がはじまった。「萌え」と「戦車」といういかにも男子が好きそうな要素、しかしまったくかけ離れた要素を組み合わせた突拍子もない作品だ。

スタッフから「奇跡の分割1クール」と呼ばれた本作品は、1クール中に全話の納品が間に合わず、2度の総集編を経て最終2話が三カ月遅れで放送されることになった。だが、放送中の人気から売上に確信が持てたのだろう。おそらく、それまで以上の予算と、三か月分という時間が投入されたことで、その2話はすばらしい映像作品となった。スケジュールの遅れが、これほど幸いに転じたことなどないのではないだろうか、という見事な展開だった。

そもそも「戦車」という要素を扱いながら、軍事色はいっさいなく、人死にが起きないどころかケガすらしない。登場人物は危険と背中合わせという描写もあるのだが、起きることといえば、せいぜいメガネのレンズが割れるくらいで、安心して楽しめる娯楽作品なのだ。

もっとも、私がガルパンに惹かれたのはテレビシリーズの後半で、当初は「登場人物が多くて覚えきれない」アニメだった。むしろ、その前後に放送されていた「さくら荘のペットな彼女」と「となりの怪物くん」を好んで見ていて、たまたま間に挟まっていたから見ていたという程度だった。もともと「戦車好きな男子」でもない。

ところがテレビシリーズの7話の思わぬ展開に驚いた。振り返って過去話を見直してみると、なかなか上手い構成になっている。続くストーリーも面白かったし、評判もうなぎ上りだった。そして前述の最終2話である。すっかり引き込まれてしまった。

この**ガルパンの舞台が茨城県大洗町**である。ガルパンは、地元色を前面に押し出しているのも特徴的だった。街中を走り回り、建物を破壊するのだ。だが、そこには悲惨な描写もなければ、ネガティブな印象を与えることもない。むしろ、建物が破壊されることは縁起がいいこと、というのが物語の設定だ。

ガルパンのヒットで大洗町は知名度も経済的効果も上がった。意図的な「アニメで町興し」という試みもある中、深夜アニメがこれほどまでに功を奏した例は後にも先にもないだろう。何より町全体で聖地探訪を歓迎しているという評判だった。以前、鳥取県で催された「琴浦さん」イベントのときに知り合った人からも、大洗はいいところなので行ってみてください、と言われていた。

そして、ついにその日がやってきたのだ。

「あんこう祭」は、大洗町の名物「あんこう」にちなんだ年に一度のお祭りだが、アニメが放送された2012年からガルパンのイベントが催されるようになり、大勢の参加者を集めていることが話題になっていた。しかも、今年は長く待たされた映画の上映が近づいていた時期でもあった。盛り上がること間違いなしだ。



出発

ちょっとした前日譚がある。「あんこう祭」のある11月15日は、**崎陽軒**の「ひょうちゃん還暦記念キャンペーン」の最終日でもあった。家族は、わずかに足りないポイントのために、私に崎陽軒まで買い物に行ってほしいと思っていたらしい。

この日は朝から出かけるつもりだった私は、前日になって「明日は朝からいない」と伝えたのだが、当然、ガッカリされた。そんなこと言われても、と思うが、ここで恨みをかうのは得策ではない。だから、14日の夜、立川まで出かけたのだ。しかも、雨の中、傘をさして。片道5kmちょっとで1時間ほどかかる。



崎陽軒は、立川の高島屋にあるが、すでに5時を過ぎていて品物があまり残っていなかった。というより買おうと思っていたものがなかった。後から思えば八王子に行った方がよかったが、それでもなんとか必要なポイント分を買って、やはり歩いて帰った。靴はグシヨグシヨに濡れたが、これで使命は果たした。

大洗は遠い。4時台の始発で出かけても、大洗駅に到着するのは8時過ぎだ。ガルパンイベントは12時からだが、イベントそのものは9時からだし、できるだけ早く着いておきたい。グシヨグシヨの靴は、何度も紙を詰め替えてなんとかしたし、やはりここは早起きするべきだと4時に起きて出発した。外は、まだ真っ暗だ。



電車もガラガラなので、コンビニで買った朝飯を食べる。せっかくのアニメイベントなのだからアニソンでも聴いて行こうとスマートフォンにつないだイヤホンが接触不良だったのが残念だった。しかも、天気予報を見ると午後まで雨になっている。

神田で山手線に乗り換えた後、決して寝ていたわけではないのだが、うっかり考え事をして乗り過ごしてしまった。気付いた時には、もう扉が閉まる音が鳴っていた。一瞬の迷いが命取りで、降り損ねてしまった。

せっかく早起きして始発に乗ったのに、朝は電車の本数も少ないので到着が遅れてしまう。それなら何十分も遅い時間まで寝ていられたのに、と思っても後の祭りだ。

せっかく早起きして始発に乗ったのに、朝は電車の本数も少ないので到着が遅れてしまう。それなら何十分も遅い時間まで寝ていられたのに、と思っても後の祭りだ。



大洗駅

乗り換えを間違えてガッカリしていたが、水戸駅から鹿島線への乗り換えにギリギリで間に合い、もともと予定していた8時1分発の電車に乗ることができた。

「乗換案内」が次の電車を案内する程度の余裕がない乗り換えで、せっか



くのラッピング電車なのに、水戸駅では写真を撮ることができなかった。もちろん「ご同慶」で混雑している車内でも、あまり身動きできず、スマートフォンでかろうじて1枚写真を撮った程度だ（右上）。

15分ほどで大洗駅に到着。大洗駅には、もう一台のラッピング電車も停車していたが、さんざん写真を撮りまくってしまい、10分ほど経った頃にはホームには「ご同慶」の人々は残っていなかった。









しかし、とにかく大洗にやってきたのだ。改札を出ると、色々案内が出ていた。販売コーナーは準備中だったが、早速、散財する。



さっそく記念乗車券を購入



こちらは準備中



駅でも街でもたくさん見かけた劇場版のノボリ



観光案内所



観光案内所の中もガルパンだらけ



紹介映像も上映中



戦車も色々



もちろんガルパンファンばかりではない



駅の外にはラッピングバスが停車中



でも歩いて現地に向かう



遠くに見えるマリンタワーが会場の目印



そして会場へ

あんこう祭

会場に着いたときには開会式まで10分を切っていた。出店は準備万端というところだろうが、このまま会場の方へ進む。当然ながら中央、真ん中あたりには大勢の人が集まっていたが、少し端の方に移動することで、そこそ前の方まで行くことができた。



会場に到着



出店もほぼ準備完了



雨がしとしと降っている



それでも広い会場の中では割と前の方

そして9時になった。「あんこう祭」の始まりだ。撮影は禁止されていたが、開会のことばでは
淵上舞さんが登場した。「あんこうさい」と読むとは知らなかった。



向かって左端に座っているのが大洗大使でもある「ガールズ&パンツァー」杉山潔プロデューサー



傘で後ろの方が見えなくなるので、ほとんどの人が傘を閉じてくれた

ビニールシートのようなものを持っていなかったのじゃがんでいるのが辛くなり、途中で後ろの方に移動したのだが、後でコンビニ袋を敷くことを思い付き、ふたたび前に移動。



ちょっと後ろに移動



マーチングバンドは屋根の下で歩かずに演奏

実は、ここでものすごい失敗をしでかしていた。デジカメのISO設定が「AUTO」から「16000」に切り替わっていたのだ。新しいデジカメで使い慣れていないせいもあったが、ものすごく暗い場



みんな準備がいい



あんこうの吊るし切り

所のための極端な設定だ。シャッタースピードがやたら速いことで気付くべきだったが、たまたま天気も悪く、夜まで気付かなかった。このため、この後の写真は非常に粗い。



ウルトラマンショー



協力都市のゆるきゃらが集合

あんこうの吊るし切りや子供向けのショーの後、12時から「ガールズ&パンツァー」のトークイベントだ。もちろん撮影は禁止。



トークショーの開始直前には後ろまで人で埋まっていた



「電撃オンライン」の記事より

この年は公開が間近に迫った劇場版があり、話題に事欠かない楽しい時間だった。ガルパン応援大使として招かれた蝶野正洋さんの登場では、いっそう盛り上がっていた。



お目当ての時間が終わって会場から去る人々



撮影していた人々も撤収

トークショーの後はすっかり人が少なくなった。私もどうしようか迷ったが、はじめての「あんこう祭」でもあり、もう少しイベントの続きをみてもよいかと、その場にとどまった。



阿波踊り



観光案内の配布



大洗マリンタワー



マリンタワーの前のグッズ販売



豆腐の試食



おいしい……お野菜？



天気はよくなくても、けっこうな人出



会場前のカジキ



名物のしらす丼



あんこう汁には長い列



けっこう人気の高いあんこうの吊るし切り（2回目）



ファンの人たち



自衛隊も出張



自衛隊の展示車両



サークルKサンクスのコーナー



ガルパン応援大使となった蝶野正洋さん



山ほどのガラクタグッズ



マニアの財力はハンパない!



整理券はガルパンのトークショーを見ている間に配布が終了していた



きつねの嫁入り



列が短くなってきたのであんこう汁に並んでみる



ちゃんと具が入っていておいしかったです



売られているあんこう



あちこちにガルパンキャラ



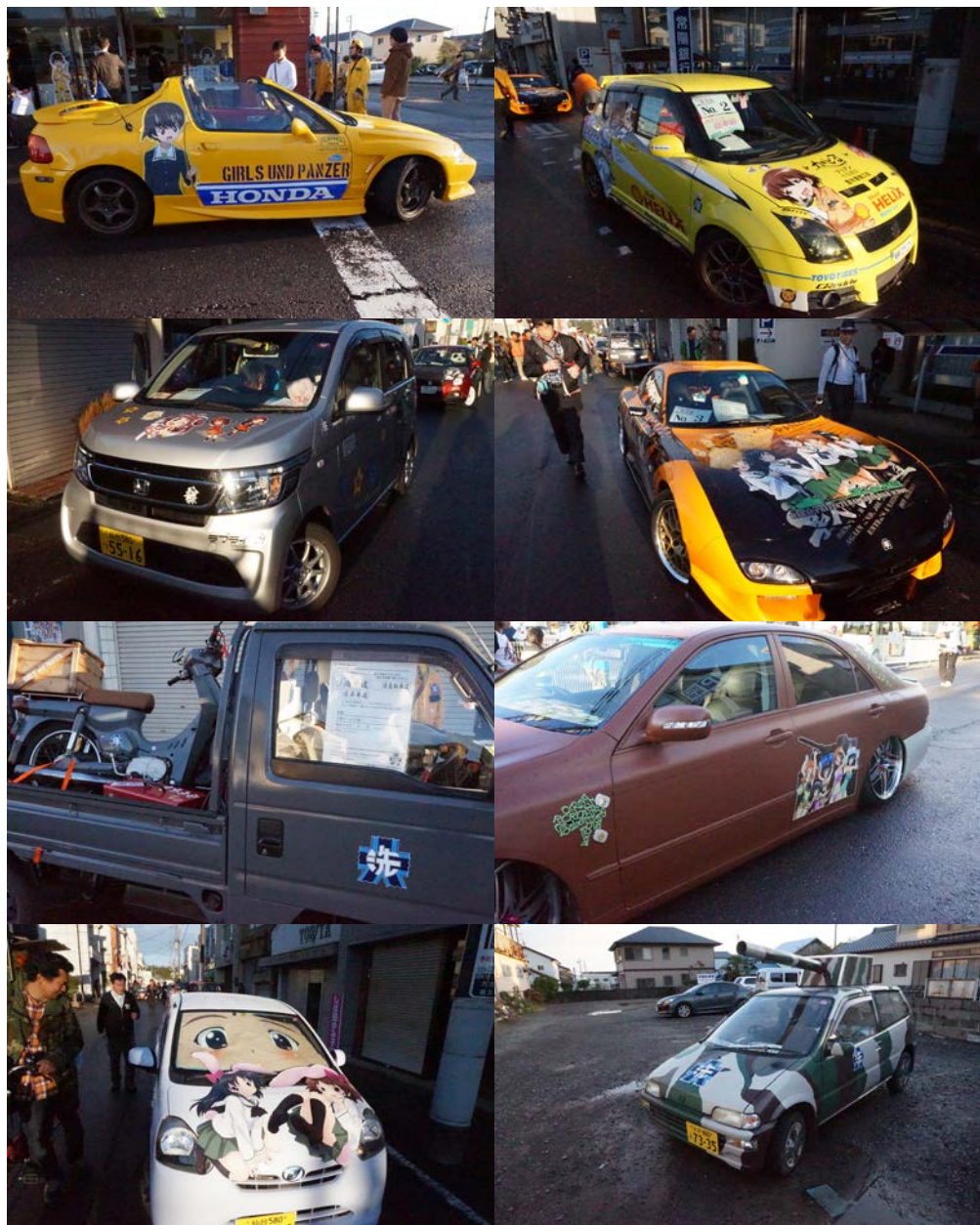
この上、おしることきな粉もち……は食べ過ぎだった



会場から離脱

大洗町

トークショーが終わったら街中に出てみようとも思っていたが、「あんこう祭」が楽しかったので、これはこれでよかった。と思ったのを後悔することになった。お祭りなので、街中でも色々なイベントをやっていたのだ。しかも、あまりよく調べず歩き始めてしまった。



ガルパンの痛車





「SHIROBAKO」に登場する「TAITANIC」



茨城新聞の「ガルパン」劇場版特集（買いました）



劇場版にも登場する「着屋本店」



なかなか楽しいスマホアプリ「舞台めぐり」



街のそこかしこに等身大キャラ



いろんなものを作る人がいます



ここまで来て型抜き!!



学園艦……ではない



劇場版でも登場する大洗リゾートアウトレット



通路も戦車道



うさぎさんチーム仕様



戦車は片づけているところだった







夜の大洗駅



ガルパンのヘッドマーク



鹿島線で帰宅

朝は乗り換えを失敗し、会場を抜け出すのが遅くなり、痛車に気を取られて戦車を見逃したり、デジカメの感度を上げ過ぎたという「ヘマ」は続いたが、トークショーは楽しかったし行ってよかった。この天気にもかかわらず、あんこう祭には昨年を超える11万人が訪れたそうだ。聖地探訪に役立つアプリ「舞台めぐり」も、最初は勝手がわからなかったが、アニメの場面を思い出すのに役立った。未訪問のところがあるし、きっとまた行こうと心に決めた（そして、実際に行くことになったのだが）。

ひとつ心配だったのは、劇場版が公開されたことで一区切りついてしまったことだ。しばらくすればBlu-ray/DVDも発売される（その後、2016年5月27日の発売が発表された）。つまり、翌年のあんこう祭の頃にはプロモーションするものがなく、ガルパンコーナーが消滅してしまうかもしれないのだ。

だが、主演声優の洲上舞さんはツイッターに「また来年」というメッセージを残していた。つまり、来年も期待してよいのだろう。むしろ今から来年の予定が抑えられているということは、プロモーションするための「何か」が発表されることだってあるのかもしれない。そう思うとちょっとワクワクする。





大洗あんこう祭 (2015)

2015 年 11 月 15 日、茨城県大洗町

大洗あんこう祭 (2015)

2015 年 11 月 15 日、茨城県大洗町

© 2015 Motohisa Ohno <http://www.mohno.com/>

※本文における商品名は、各社の商標または登録商標です。
※本文では以下のサイトからイメージを引用しています。

ガールズ & パンツァー公式サイト

<http://girls-und-panzer.jp/>

崎陽軒公式サイト

<http://www.kiyoken.com/>

電撃オンライン『『ガルパン』より“大洗あんこう祭”出演直後の洲上舞さんたち 5 人に独占インタビュー!』

<http://dengekionline.com/elem/000/001/157/1157722/>

「ガールズ & パンツァー」公式アカウント

<https://twitter.com/garupan/status/665850900116738048>